

# 聴覚障がい特別支援学校における センター的機能の現状について

北海道教育庁学校教育局特別支援教育課

1

## ○ 説明事項

- 1 本道の聴覚障がい特別支援学校の現状
- 2 聾学校教職員の専門性向上に係る取組
- 3 聾学校におけるセンター的機能の発揮
- 4 地域における保健、医療、福祉の関係機関と連携した乳幼児教育相談などの取組

2

# 1 本道の聴覚障がい特別支援学校の現状

学校名	幼稚部	小学部	中学部	高等部 (専攻科)	合計	教員数*
高等聾学校	—	—	—	42 (8)	50	52
札幌聾学校	14	25	14	—	53	39
室蘭聾学校	3	6	2	—	11	17
函館聾学校	2	6	5	—	13	14
旭川聾学校	6	12	3	—	21	20
帯広聾学校	7	6	2	—	15	16
釧路鶴野支援学校	3	6	1	知的 (92)	10	14 (聴覚部門のみ)

\*教員数は、教諭の数（栄養、養護含まない） 3

## 2 聾学校教職員の専門性向上に係る取組

### ア 手話活用能力の向上に係る研修

- ・手話の語彙や表現に関する知識・技能の向上
- ・手話表現の読み取りや手話を活用したコミュニケーション能力の向上
- ・資質・能力の育成に向けた、学習活動における手話の効果的な活用
- ・日本手話の知識や、その活用能力の向上

### イ 聴覚口話法の基礎的事項の習得に係る研修

- ・聴力測定や補聴器の調整・評価
- ・補聴器や人工内耳
- ・聴覚活用
- ・読話指導
- ・発音・発語指導
- ・発達の段階に応じた言語指導の在り方

### 3 聾学校におけるセンター的機能の発揮

- 特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業
- 医療・福祉・保健・行政機関との情報共有と連携体制の構築
- 通級による指導（巡回指導）の実施
- 乳幼児期から学齢期への円滑な移行を支える教育相談対応

5

### 4 地域における保健、医療、福祉の関係機関と連携した乳幼児教育相談などの取組

#### 1 道立聾学校専門支援事業

【難聴児療育事業】（乳幼児相談室）

R2	R3	R4	R5	R6
139	136	123	138	集計中
29,523	28,762	26,407	24,430	22,658

（単位：延べ人数）下段は北海道の出生数

#### 乳幼児相談室のスケジュール（例）

- 9：30 相談室へ健康チェック  
自由遊びなど
- 10：30 朝の活動、季節の活動  
お絵かき、工作など
- 11：30 設定遊び
- 12：00 親子でお弁当
- 13：00 連絡、下校

\*午前中だけの活動や個別指導の日もあります。

#### 2 難聴児等支援派遣研修事業

【個別療育研修】（上段：市町村数、下段：延べ回数）

R2	R3	R4	R5	R6
7	6	12	14	14
11	11	16	19	25

【事業所養成研修】（単位：市町村数）

R2	R3	R4	R5	R6
9	15	15	14	15

#### <研修テーマの例>

- ・補聴器の取扱い
- ・聴覚障がいに関する基礎・基本
- ・難聴児との関わり方
- ・片耳難聴について など

6